

JCMA 報告

第一回情報化施工活用支援セミナー 開催の報告

一般社団法人 日本建設機械施工協会
情報化施工委員会 復興支援ワーキング

1. 復興支援ワーキングの紹介

日本建設機械施工協会情報化施工委員会では、東日本大震災の災害復興事業に情報化施工を活用することで、安全・安心できる復興事業を実現し、一日も早い復興を遂げられるよう活動しています。同委員会に立ち上げた復興支援ワーキングには、情報化施工機器関連メーカー、建設機械メーカー、レンタル業社、測量業者、施工業者、ソフトウェア業者等、幅広い企業が参加しています。復興事業が情報化施工を利用して迅速に進められるよう、ワーキング参加企業が一体となって測量業務から施工管理にいたるまで、発注者、施工者の皆さんをトータルでサポートしています。

(1) ホームページで情報の提供開始

「がんばろう東北！！東日本大震災復興支援サイト」
<http://www.jcmanet.or.jp/sekou/hukkou/index.html>
を開設しました。活動の紹介、情報化施工のQ&A、つぶやき広場などで、情報化施工に関わる情報を提供しています。発注者様、施工業者様それぞれに向けた情報を記載しました。

(2) 震災復興工事チャレンジ業者募集

情報化施工の経験はないが、震災復興工事を情報化施工で効率的に作りたいとお考えの施工業者様を募集しております。情報化施工に関わるメーカー、レンタル会社、ソフト会社が賛同していることを最大限に活用し、導入・実施に関するトータルコンサルティングをさせていただき、施工現場にあった機材の提案及び一部の機材を一定期間無償で貸与いたします。まだまだ募集しておりますので、応募をお待ちしています。

2. セミナーの開催

活動の一環として、11月1日に宮城県岩沼市で「第一回情報化施工活用支援セミナー」を開催しました。

(1) 午前の開催内容

午前中、名取市文化会館にて、「情報化施工の概要」「情報化施工技術の実施概要」「現地測量値からMCデータを作成する方法」を紹介しました。



写真1 名取市文化会館高での講義風景

(2) 午後の開催内容

実技会場には、情報化施工機器を搭載した多数の建機を用意し、以下のシステムを利用した作業を実際に体験していただきました。

- ①モーターグレーダの3D MC
自動追尾 TS を利用したすき取り作業
- ②ブルドーザの三次元3D MC (RTK 版)
RTK-GNSS を利用したすき取り作業
- ③油圧ショベル (バックホウ) の3D MG
VRS を利用した法面整形作業
- ④油圧ショベル (バックホウ) の2D MG
小規模掘削 (溝掘り) 作業
- ⑤ TS 出来形管理基本設計データ作成



写真2 キャタピラー東北岩沼ICT
研修センターでの風景



写真3 セミナー受講者、スタッフとの全体写真

現在の情報化施工に関わる多くのメーカーの製品が一堂に会したのは、初めてとなりました。

3. 今後の活動

各社の協力で講習会は成功をもって終了することができました。関係者各位にこの場を借りて、御礼申し上げます。

引き続き「チャレンジ業者の募集」と「第二回情報化施工活用支援セミナー」の開催を行う予定です。